

あわちゅうだより

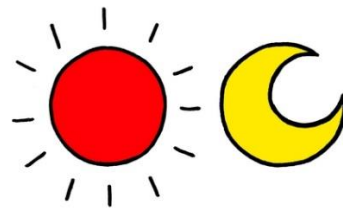
2024年10月29日（火）発行

大津市立粟津中学校生徒指導部

季節の変わり目とは？



私たちは現在、太陽の動きをもとにつくられている暦（新暦やグレゴリオ暦と言われています）を使っています。1年間で365日となります。太陽の位置による地球表面の暖められ方の違いによる1年間の気温の変化などから、日本では春、夏、秋、冬の4つの季節があります。



明治時代の途中までは現在の太陽の動きを使った暦ではなく、月の満ち欠けをもとに季節をあらわす太陽の動きを加味して作られた暦（旧暦や太陰太陽暦と言われています）が使われていました。月の満ち欠けは1回転に約29.5日かかります。12か月で約354日となり、現在の暦と11日のずれがあります。1年間で11日のずれはとても大きく、季節と暦が年々大きくずれていきます。なので、旧暦を使っていたときは、季節と月日のずれが大きくなったとき、閏（うるう）月を入れて調整していたようです。それでも、農業など季節と結びついた作業をしなければならない場合、正確な季節を知る必要があるため、それを知る手立てとして「二十四節気」が使われていたようです。「二十四節気」とは約半月ごとの季節の目安のことで、立冬（11月7日頃）、小雪（11月22日頃）、大雪（12月7日頃）など、現在でも季節を表す言葉として目にすることがあるものですね。

もう少しで立冬ですが、「冬の兆しが見え始める頃」になります。気温も下がり、冬の気配を感じる時期になります。季節の変わり目は、1日の気温差が大きくなりますが、寒暖差が5以上になると自律神経が乱れやすくなり、頭痛や体調不良というような症状を引き起こすと考えられています。これを予防するためには、規則正しい生活習慣、バランスのいい食事が大切です。2学期も残り半分、健康で安心、安全な生活を送ることができるよう心がけましょう。

自転車のルール変わります



道路交通法の改正により、2024年11月1日から自転車の「ながら運転」が禁止され罰則が強化されます。「ながら運転」とは、運転中にスマートフォンなどで通話したり、画面を見たり、操作する行為です。自転車通学の人はもちろんですが、帰宅してから出かける際に自転車を利用される人も多いと思います。自転車は便利な道具ですが、使い方を間違えると危険を伴うこともあるので、気を付けて運転しましょう。



標準服の見直しについて



粟津中学校では令和8年度入学生（現小学校5年生）より、時代に合った新しい標準服に変更する予定です。今後、標準服見直し委員会でデザイン等を検討していきます。